

有限会社 ワイ・アール・ティ

〔業種〕 織物業

事業
計画名

形状記憶繊維「ShuCODE(シュコード)」
の耐久性付与を目指した完全内製化

◇代表者名 代表取締役 北川 靖幸
◇設立年月日 平成8年4月1日
◇所在地 〒929-1173
石川県かほく市遠塚ハ1番地17
◇TEL: 076-285-1985
◇FAX: 076-285-1935
◇URL: <http://www.shucode.com>
◇E-mail: yrt@shucode.com
◇従業員数 6人
◇資本金額 6000千円



ShuCODE

事業に取り組んだ経緯・背景

当社は昭和43年に細巾織物業として石川県かほく市で創業した。インナー、アウターウェア、ベルト、靴、ラッピング等に用いる細巾織物をニードル織機で製造する一方、撚糸の一種である「カバーリング」も行っている。カバーリングとは伸縮性の芯糸に別の糸を螺旋状に巻き付けて、強度や意匠性を高める製法である。張力制御機構を備えた特注カバーリング機で、従来の伸縮性芯糸に加え伸縮性のない芯糸にも対応できる。

平成28年に「形状保持性を有するファッション糸」を開発してほしいとの依頼を受けた。ただし、形状保持素材として金属系ワイヤーは用いないようにと指定があり、樹脂製ワイヤーとして、形状保持性ポリエチレン糸「テクノロート」に着目した。しかし、テクノロートの表面が平滑ゆえ、カバーリングすると滑ってほつれやすいことが判明したため熱

融着糸を接着剤として用い接着することに成功したものの外部に依頼するしかなく、全工程を最短でも4日を要していた。多品種少量・短期生産を進める上で、外注依存から脱却し、熱処理工程を内製化してリードタイムを短縮する必要があったため、当事業に取り組むことにした。

事業内容

樹脂コーティングと熱処理の工程を社内で行えるようにする為に現行のダブルカバーリング機にコーティング・熱処理器を増設し、カバーリング工程の一部として連続的に樹脂コーティングと熱処理を行う体制を整備した。カバーリング糸に樹脂液を塗布するコーティング部と樹脂を加熱硬化させる熱処理部で構成される。「ShuCODE」を製造するにあたり、これまでは熱融着を行うために必要な熱処理設備がなかったため、カバーリング後の熱処理を外部

に依頼するという非効率的な生産工程であったが、コーティング熱処理機械を導入し完全内製化を図りリードタイム短縮を行った。

事業の成果

自社独自の形状保持性カバーリング繊維「ShuCODE」の完全内製化が出来た為、時間短縮ができ、ご注文をいただいてから発送まで素早く対応できる体制が整った。

それと共に、伸縮性のないテクノロート糸に対応した特殊仕様であり、張力を精密管理して緩みを防止する独自のノウハウを有することが同業他社にない当社の強みとなった。

事業の現在の状況

「ShuCODE」のターゲットとする雑貨市場は近年、大手小売店や数多くの通販サイトにおける需要が増加傾向である。消費者の趣向が細分化するにつれて、求められる商品も多品種小ロット化していく傾向が顕著である。今まで取引してきた、問屋や小売を介さない消費者主体の自由な売買が活性化してきている為、個人事業主として独立した作家でなくとも、消費者自身が副業感覚で作品を発表・販売するようになってきている。そこで、自社HPやSNS、展示会等にて「ShuCODE」の魅力を一般消費者に浸透させ、消費者とのやり取りやネット情報の中から丹念にニーズの掘り起こしを進め、新製品開発の可能性を探っていく予定である。



商品（一部）



社屋外観

〔得意分野〕

細巾ゴム入織物、マイクロテープ、カバーリング糸の製造

〔主要取引先〕

株式会社ムラタ、東京テープ株式会社、株式会社三景、株式会社イノウエ、株式会社葛西、株式会社サンキ、株式会社東京サンキ、

〔商品〕

各種細巾ゴム入織物、マイクロテープ、カバーリング糸、エンボス加工、ShuCODE

〔代表者から一言〕

会社としてできることは何か考え、守り続けてきた技術と、今後変化していく事に対してチャレンジすることを忘れず、安心安全な商品を製造していきます。



代表取締役 北川 靖幸